

### 精神保健福祉に関する法律 一部改正について(第二報)

先月号一面でお伝えした「精神保健福祉に関する法律の一部改正」について、3月14日に精神科病院向け説明会が行われました。その内容を受けて、皆様に関係の深い箇所をよりわかりやすく具体的にご説明いたします。

今回の法改正の目的として精神障がい者の権利の擁護を図りつつ社会復帰の促進や安定した社会生活を実現することが挙げられます。昨今、精神科病院や障がい者・高齢者施設などで職員による虐待事件がニュースで取り沙汰されており、また、受け入れ先の確保が困難など様々な事情はありますが、精神科病院における退院促進が十分に進んでいないという実態があります。これらの課題に対処し、精神障がい者の方が自分らしく生きるために、適切なサポートを受けながら安定した生活を目指すべく、2024年4月より精神保健福祉法が変わります。改正のポイントは下表の通りです。

#### 医療保護入院の入院期間の法定化

今までは本人の病状に応じて医療保護入院期間を設定し、推定した入院期間に到達する前後2週間の期間で退院支援委員会を開催していました。退院支援委員会では入院が正当か否かや退院に向けた取り組みが検討されます。もちろん入院形態は病状によって判断されるものですので、退院支援委員会を待たずして任意入院に形態変更することや退院となることも往々にしてあります。しかし、一方で退院支援委員会の開催が義務付けられた2014年4月以前に医療保護入院となった方や「重度かつ慢性」と判断された方に対しての検討機会を義務付けるものではありませんでした。

今回の法改正では全医療保護入院者を対象に入院期間が法定化され、医療保護入院が更新制となります。今後は入院から半年間は最長3ヶ月、半年経過した後は最長6ヶ月という期間の中で医療保護入院を継続するか判断し、退院支援委員会で退院に向けた取り組みを協議していくこととなります。また2024年3月迄に医療保護入院となっている方については、2024年9月末までは現行通りの退院支援委員会を行い、2024年10月以降は入院月ごとに同様の更新手続きと退院支援委員会が行われます。

改正とともに当院ではこれまで以上に退院促進と安定した生活のサポート体制の構築に取り組む所存です。退院支援委員会などご家族や地域援助事業者の方とともに取り組む機会が増えますので、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

#### 精神科病院での虐待の通報制度の新設

これまでも当院では虐待防止について毎年研修会を開催するなど予防に努めていましたが、法改正に伴い院内で相談窓口を設けることになりました。窓口は医療相談課主任國田となりますので、よろしくお願い致します。また2階・3階病棟、外来玄関にご意見箱も設置しておりますので、こちらも引き続きご活用ください。

これからも皆様に分かりやすい情報をお伝えできるよう広報委員会一同努力してまいります。皆様にご協力をいただきながら「病む人と出会い 病む人を支え 病む人に学ぶ」という当院理念を実現していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

令和6年(2024年)4月1日から新しく

## 精神保健福祉法が かわりました!

#### 開始 医療保護入院の入院期間の法定化

- 医療保護入院の入院期間が、最長6か月となりました。
- ただし、精神保健指定医による診察の結果、医療保護入院の継続が必要と判断された場合、医療保護入院者退院支援委員会を開催し、家族等の同意(市町村長同意も含む)を得た場合に、入院期間が更新されることになりました。

#### 開始 精神科病院での虐待の通報制度の新設

- 精神科病院で働く人からの患者さんに対する虐待について、都道府県等への届出や通報の制度ができました。

#### 開始 入院者訪問支援事業の新設

- 所定の研修を修了した入院者訪問支援員が、患者さんの希望に応じて病院を訪問し、丁寧にお話を聞き、必要な情報を提供する制度ができました。  
※患者さんとは、市町村長同意で医療保護入院をしている方を指します。  
※本事業の実施状況等は、都道府県等により異なります。

#### 改正 地域生活への移行の促進

- 退院後生活環境相談員(退院支援の担当者)が、措置入院の場合でも必ず選任されることになりました。
- 措置入院・医療保護入院のどちらの場合でも、地域援助事業者の紹介を受けられるようになりました。



くわしくは、あなたの担当の退院後生活環境相談員、または病院の職員におたずねください!

# 部署紹介

今月よりウトナイ病院の各部署を紹介する『各部署紹介』が始まります。各部署が担う役割だけではなく、法人の新しい動きなどを積極的に発信していこうと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 第1回 地域連携室

さて、記念すべき第1回目は地域連携室です。この地域連携室は外来支援（地域支援）の強化の一環として2022年4月に設立され、現在は専従の看護師1名と精神保健福祉士2名、外来と兼務している看護師1名の計4名で運営されています。主な業務は外来受診の相談や入院の相談、他医療機関や関係機関との入院や転院の受け入れ調整などになります。とホームページには書かれていますが「植苗病院の時代は困ったときは医療相談課に電話していたけれどそれではダメなの？」と思っている方も多いのではないのでしょうか。今回の病院移転に伴い当法人の外来機能はウトナイ病院に集約されました。そこで外来支援の充実のため、外来支援と入院支援を分けて、地域医療連携室と医療相談課（リハビリテーション部）の役割をわかりやすいようにしています。これにより地域連携室は外来受診や入院相談といった問い合わせを中心に対応し、医療相談課は入院（退院）支援を担うことになりました。4面にも掲載されている様に、法人をご利用されている方達をお待たせしなくてもすむように電話番号も代表電話だけではなく下記の様に各部署ごとにわかれておりますので、電話にてお問い合わせの際にはよろしく願いいたします。

- ・地域連携室直通（外来や入院の新患受診相談など）

**0144 (84) 5658**

- ・リハビリテーション部直通（入院中の方の担当コメディカルスタッフへのご相談・ご連絡など）

**0144 (84) 1017**

- ・ウトナイ病院代表電話

**0144 (84) 5561**

※問い合わせ先がご不明な場合は代表電話の方へお掛けいただければ担当部署へお繋ぎいたします





精神科医 田中 尚朗

デイクア川柳

## 第13回

みなさんこんにちは。今回は、ボストンにほど近いサマービル市にある「サマービル・ジャンクション」を取り上げたいと思います。ここは以前に紹介した廃線「レキシントン・アーリントン線」(第8回)の起点でしたが、もともとはボストンから北へ向かう「ボストン・アンド・ローウェル」(第10回)の駅として設置されました。その後、1881年に部分開業した「セントラル・マサチューセッツ」(第11回)もここから分岐することになり、まさに分岐駅として隆盛を極めたわけです。

しかし、上記記事でもみたように、「ボストン・アンド・ローウェル」だけが「ボストン・アンド・メイン」に吸収される形で生き残ります。この路線は現在もMBTA(第1回)のコミューターレールとして活躍しています。いまや分岐駅ではなくなってしまった場所。北海道でも鷗川、新夕張などなどたくさん思い浮かぶところですね。

そこへ2022-3年にかけて、地下鉄(実際は鉄道+路面電車+地下鉄)のグリーンラインの延伸が行われ、かつてのサマービル・ジャンクションの近くに「マグリーン・スクエア」という駅ができました。通勤レールと並走、かつ無関係に走っており、分岐駅でもなんでもないわけですが、それは大きな変化だったのです。そしてあらたに「サマービル・ジャンクション・パーク」という公園がつけられたのでした。

子供の頃、中標津や厚床や帯広で、いろんな分岐線・引き込み線を車窓から見て、「この線はどこへ行くんだろう」といつも興味を持っていたものです。子供一人ではその好奇心を追っていくことはできませんでしたが、今なら多少の危険に注意すれば見たいものを見ることもできるでしょう。かように人生においても分岐点は多いのでしょうか、時刻表はあてにならないとしても、せめて路線図くらいは持っていたいものです。

ということで、連載も2年目に入ります。どうぞよろしくお願いします。



道ばたに芽を出す花が春を呼ぶ

★ 銭谷

桜もち買った帰りに雪ふぶく

★ 山内

## お知らせ

## ◆ 広報紙名称変更について ◆

病院の新築移転とはタイムラグがありますが、新年度のスタートにあわせて今月から広報「うとない」に名称が変わります。2006年6月号(217号)でも広報「うえなえ」として紙面のカラー化と内容を刷新してリニューアルをしていました。前回は18年ぶりのリニューアルでしたが、今回も18年ぶりの紙名変更とどうやら「18」にご縁があるようです。

今回は、紙名変更がメインのため大幅な刷新とはなっていません。変更点としては、紙名もひらがな表記にして親しみやすさを出しました。また、新病院移転を機にロゴの作成や通称に「こころのケアセンター」を加えたため紙面にも表記することにしました。これは、新病院移転に向けて職員から病院名の募集などしていくつかの候補を出し、職員アンケートで多かったものを採用した経緯があります。ロゴは、当法人のシンボル「こぶし」の花をイメージしています(4面下部の発行の上のマークをご覧ください)。

内容については、しばらくこのままになります。好評のコラム「身近な鉄道について考える」も連載継続が決定しました。また、読者のこころの奥に響いている4コマ漫画の「まりもちゃん」も気づけば6年目に突入します。もう一つのコラム「画竜点睛」は1988年8月号から掲載している名物コラムであり、もはや当法人の広報に欠かせないものになっています。今月からは、「ウトナイ通信」を終了し「各部署紹介」として、新しい病院内の部署紹介をしていこうと思います。今後は、法人の新しい動きに合わせて内容も変更していきたいと考えています。また、新病院に伴いこれまでと変更になった診療体制や巡回バスの時間、乗り場など当法人に関わる情報を積極的に発信していこうと思っています。「広報」は、病院受付やリハビリテーション部前、デイクア内、2階病棟の作業療法室(OT室)に置かれております。今後も、広報「うとない」をどうぞよろしくお願いいたします。



お知らせ

◆ 外来変更のお知らせ ◆

2024年4月1日(月)よりウトナイ病院精神科外来が下記のように変更になりました。外来をご利用されている皆さまには大変ご不便をお掛けいたしますがよろしくお願い致します。ご不明な点がございましたら受付にご確認ください。

	月	火	水	木	金
午前	片岡 高木(果)※ 川並	高塚	片岡 阿部	片岡 高木(果) 高塚(アルコール)	片岡
午後	片岡	阿部	片岡 高木(果)	片岡	片岡

※高木院長の月曜日午前の再診は予約制になります ※内科外来に変更はありません

◆ 電話についてのお願い ◆

代表番号に電話が集中することを防ぐため、下記のように使い分けていただけますようご協力をお願い致します。

- ①外来や入院の新患受診相談  
⇒地域連携室直通  
**0144(84)5658**
- ②受診に関することや会計・手続等のお問い合わせ  
⇒代表電話  
**0144(84)5561**
- ③入院中の方の担当コメディカルスタッフへのご相談・ご連絡  
⇒リハビリテーション部直通  
**0144(84)1017**
- ④デイケア通所中の方  
⇒デイケア直通  
**0144(84)5774**



発行

社会医療法人こぶし広報委員会  
 苫小牧市ウトナイ南2丁目1-8  
 心のケアセンター ウトナイ病院  
 TEL:0144-84-5561  
<http://www.uenae-hp.or.jp/>



樽前山が見えました

< 後記 >

某4階病棟師長を唆してみたのですが、今年のエイプリルフールは特に何もなく過ぎ去っていきました。精神保健福祉に関する法律の一部改正による書類の書式変更さえなければ今年こそはクスッと笑える素敵な嘘が付けたはずなのに…。残念です。

(K.S)